

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人健光園	代表者	古石 隆光	法人・事業所の特徴	「生涯地域居住」の理念のもと高齢者から児童までの福祉サービスを提供している。「大切な人にこの場所を」の理念を掲げ、慣れ親しんだ地域で高齢者が安心して暮らし続けられる支援を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 十四軒町の家	管理者	小泉 徳芳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	全職員が参加可能となるようオンラインを使用した会議など新たな取り組みを始める。	法人全体研修においてはオンラインにて自宅参加が可能となる。事業所単位での開催に繋げたい。	事業所評価項目と地域向け評価項目それぞれのものである。地域向け評価が事業所評価に近い形になれば意見も出しやすい。	会議のオンライン化、動画視聴。サービス評価フォーマット変更などの提言予定（京都地域密着型サービス事業所協議会へ）
B. 事業所のしつらえ・環境	広報誌の継続発行。SNSの活用が可能となるよう職員間で講習会を持ちたい。	リーフレットが完成している。事業所の広報など活用している。事業所 Instagram 開設、積極的な投稿が出来るよう工夫している。	実際に利用していない家族、運営推進会議委員ではイメージが持ちづらい。	写真による日常生活の紹介に限らず動画、Instagram の紹介、画像共有などに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	様々な地域行事、企画への参加を再開する。	千本通商店街百円市への参画、参加。地域の防災訓練に参加する。	地域行事への参加も徐々に再開されておられます。食材提供企業より出張企画も取り組んでおられます。	千本通商店街百円市への参画、地域防災訓練へ参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	料理教室など地域からの参加可能な企画を開催する。	料理教室を再開している。次年度には地域にも開放したい。	料理教室は再開されている。以前のように地域への開放も含めて開催を継続して下さい。	地域向け料理教室を開催する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ禍の終息後、運営推進会議での交流、圏域内合同会議の再開を検討する。	運営推進会議は集合開催が継続されている。会議内での親睦、交流の機会は持っていない。圏域合同会議の開催は検討までも至らない。	毎回、事業所の様子を報告して頂いております。事故や苦情など事業所として伝えづらい事柄も情報公開されています。	運営推進会議の内容についてテーマを設ける（防災、日常の紹介、交流会など）
F. 事業所の防災・災害対策	来年度の運営推進会議にて訓練の様子を動画にて紹介する。耐震対策の継続実施。	訓練の様子など動画にて紹介する機会がなかった。事業所の設備、備品、備蓄の状況を報告するに留まった。	大きな災害に備えて準備されていると思います。訓練風景など次年度以降、会議内で紹介してもらえたらと思います。	訓練動画の視聴、事業所備蓄、備品の紹介を行う。